

平成22年度地方公営企業決算の概況

総論

1 事業数 平成22年度末現在90事業(1事業減)

平成22年度末の市町および一部事務組合が経営する地方公営企業の事業数は、90事業（法適用企業33事業、法非適用企業57事業）で前年度末に比べ1事業減少している。

事業別では、下水道事業が37事業で最も多く、次いで水道事業が23事業（上水道：19事業、簡易水道：4事業）で、これらで全体の約7割を占めている。

過去5年間の推移では、平成18年度末の事業数と比較して28事業、23.7%減少している。これは、市町村合併により公営企業でも合併が進んだためである。

【事業数の推移】

（単位：事業）

事業	年度	平成18年度	19年度	20年度	21年度(A)	22年度(B)	(B)-(A)
法適用事業	上水道	22	22	22	19	19	-
	下水道	-	-	-	-	1	1
	公共下水道	-	-	-	-	1	1
	病院	10	10	10	9	9	-
	ガス	1	1	1	1	1	-
	介護サービス	4	4	4	3	3	-
	計	37	37	37	32	33	1
法非適用事業	簡易水道	10	9	9	4	4	-
	下水道	47	47	47	37	36	1
	公共下水道	24	24	24	19	18	1
	農業集落排水	20	20	20	15	15	-
	林業集落排水	1	1	1	1	1	-
	小規模集合排水処理	1	1	1	1	1	-
	個別排水処理	1	1	1	1	1	-
	と畜場	1	-	-	-	-	-
	宅地造成	9	8	7	6	5	1
	観光施設	1	1	-	-	-	-
	駐車場整備	2	2	2	2	2	-
	市場	2	2	2	2	2	-
	介護サービス	9	9	9	8	8	-
	計	81	78	76	59	57	2
合計		118	115	113	91	90	1

法適用事業：地方公営企業法の全部または財務規定等を適用している事業であり、経理事務を企業会計方式で行っているもの。

法非適用事業：地方公営企業法の規定を適用していない事業であり、経理事務を官庁会計方式で行っているもの。

2 職員数

平成22年度末現在5,534人(49人増、0.9%増)

平成22年度末における職員数は5,534人で、前年度末に比べ49人(0.9%増)増加している。

事業別では、病院事業が4,573人で最も多く、全体の82.6%を占めている。次いで水道事業(簡易水道を含む)406人、下水道事業273人となっている。

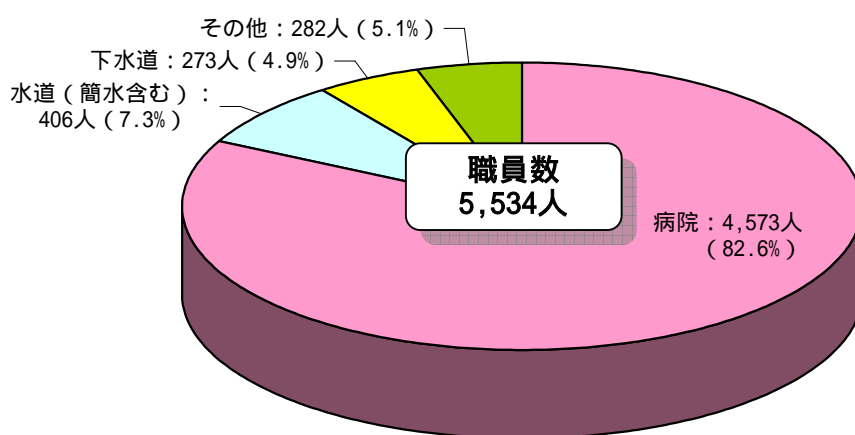
過去5年間の推移では、平成18年度末の職員数と比較して11人(0.2%減)減少となっているものの、前年度との比較では、昨年度同様に増加している。

【職員数の推移】

(単位：人・%)

事業	年度	平成18年度	19年度	20年度	21年度(A)	22年度(B)	(B)-(A)	増減率
上水道		460	435	423	415	395	20	4.8
簡易水道		19	23	24	13	11	2	15.4
病院		4,409	4,392	4,362	4,492	4,573	81	1.8
ガス		136	123	125	130	124	6	4.6
下水道		318	314	294	287	273	14	4.9
と畜場		3	-	-	-	-	0	0.0
宅地造成		5	5	5	4	2	2	50.0
観光施設		2	2	-	-	-	0	0.0
駐車場整備		0	0	0	0	0	0	0.0
市場		14	14	12	14	14	0	0.0
介護サービス		179	172	175	130	142	12	9.2
合計		5,545	5,480	5,420	5,485	5,534	49	0.9

図1 平成22年度事業別職員数



その他：ガス事業、宅地造成事業、駐車場整備事業、市場事業、介護サービス事業

3 決算規模 1,932億69百万円(83億49百万円減、4.1%減)

平成22年度の決算規模は1,932億69百万円で、前年度に比べ83億49百万円(4.1%減)減少している。これは、建設改良事業の減少(34億85百万円減)および公的資金補償金免除繰上償還の減少(109億29百万円減)に伴い、資本的支出が減少したこと等によるものである。

事業別では、病院事業が716億49百万円で最も多く、全体の37.1%を占めている。次いで下水道事業637億66百万円、水道事業(簡易水道を含む)337億百万円となっている。

【決算規模の推移】

(単位：百万円・%)

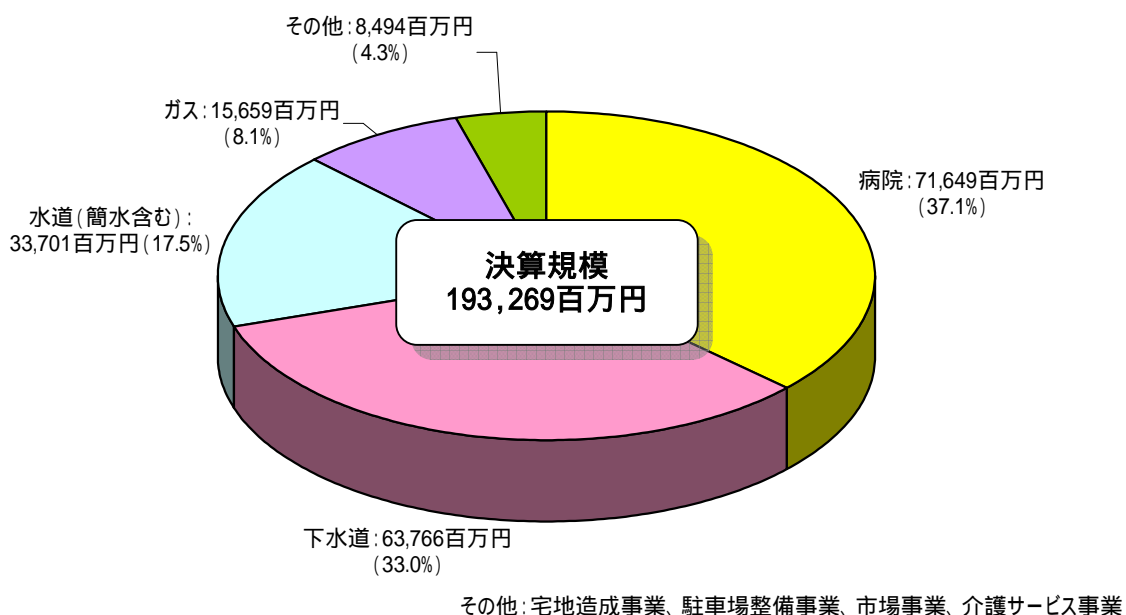
事業	年度	平成21年度 (A)	平成22年度 (B)	構成比	増減額 (B)-(A)	増減率
上水道		34,417	32,817	17.0	1,600	4.6
簡易水道		1,783	884	0.5	899	50.4
病院		67,235	71,649	37.1	4,414	6.6
ガス		14,470	15,659	8.1	1,189	8.2
下水道		77,119	63,766	33.0	13,353	17.3
と畜場		-	0	0.0	0	0.0
宅地造成		2,870	5,070	2.6	2,200	76.7
観光施設		-	0	0.0	0	0.0
駐車場整備		1,070	991	0.5	79	7.4
市場		551	474	0.3	77	14.0
介護サービス		2,103	1,959	1.0	144	6.8
計		201,618	193,269	100.0	8,349	4.1

(注) 決算規模の算出は次のとおりとした。

法適用企業：総費用 - 減価償却費 + 資本的支出

法非適用企業：総費用 + 資本的支出 + 積立金 + 繰上充用金

図2 平成22年度地方公営企業決算規模の状況



4 経営状況 88億66百万円の黒字（53億11百万円収支が改善）

平成22年度の総収支額は88億66百万円の黒字となり、前年度に比べ収支が53億11百万円（149.4%）改善した。黒字事業は80事業で全体の88.9%、赤字事業は10事業で全体の11.2%である。

事業別にみると、水道事業（簡易水道を含む）、下水道事業、病院事業、ガス事業などが黒字で推移している。病院事業については、9事業（団体）のうち6事業において黒字となるとともに、収支が大幅に改善している。

【事業別収支の状況】

（単位：事業）

事業	年度	平成21年度 (A)			平成22年度 (B)			対前年度増減 (B)-(A)		
		黒字	赤字	計	黒字	赤字	計	黒字	赤字	計
		法適用事業	上水道	14	5	19	15	4	19	1
下水道	-		-	-	1	0	1	1	0	1
病院	2		7	9	6	3	9	4	4	0
ガス	1		0	1	1	0	1	0	0	0
介護サービス	0		3	3	0	3	3	0	0	0
小計	17		15	32	23	10	33	6	5	1
法非適用事業	簡易水道	4	0	4	4	0	4	0	0	0
	下水道	37	0	37	36	0	36	1	0	1
	と畜場	-	-	-	-	-	-	0	0	0
	宅地造成	6	0	6	5	0	5	1	0	1
	観光施設	-	-	-	-	-	-	0	0	0
	駐車場整備	2	0	2	2	0	2	0	0	0
	市場	2	0	2	2	0	2	0	0	0
	介護サービス	8	0	8	8	0	8	0	0	0
小計	59	0	59	57	0	57	2	0	2	
合計	76	15	91	80	10	90	4	5	1	

（注）黒字・赤字の判断は、法適用企業は純損益、法非適用企業は実質収支による。

【事業別総収支額】

（単位：百万円・%）

事業	年度	平成21年度 (A)	平成22年度 (B)	対前年度増減 (B)-(A)	増減率
		法適用事業	上水道	1,865	2,033
法適用事業	下水道	-	1,475	1,475	皆増
法適用事業	病院	607	2,657	3,264	537.7
法適用事業	ガス	865	1,461	596	68.9
法適用事業	介護サービス	17	31	14	82.4
法適用事業	小計	2,106	7,595	5,489	260.6
法非適用事業	簡易水道	108	160	52	48.1
	下水道	1,008	898	110	10.9
	と畜場	-	-	0	0.0
	宅地造成	285	163	122	42.8
	観光施設	-	-	0	0.0
	駐車場整備	9	3	6	66.7
	市場	12	12	0	0.0
	介護サービス	27	35	8	29.6
法非適用事業	小計	1,449	1,271	178	12.3
合計	3,555	8,866	5,311	149.4	

（注）収支額は、法適用企業にあっては純損益、法非適用企業にあっては実質収支による。

5 累積欠損金 291億92百万円（17億20百万円減、5.6%減）

平成22年度末の累積欠損金は291億92百万円で、前年度に比べ17億20百万円（5.6%減）減少している。平成8年度以降14年連続で増加していたが、減少に転じている。

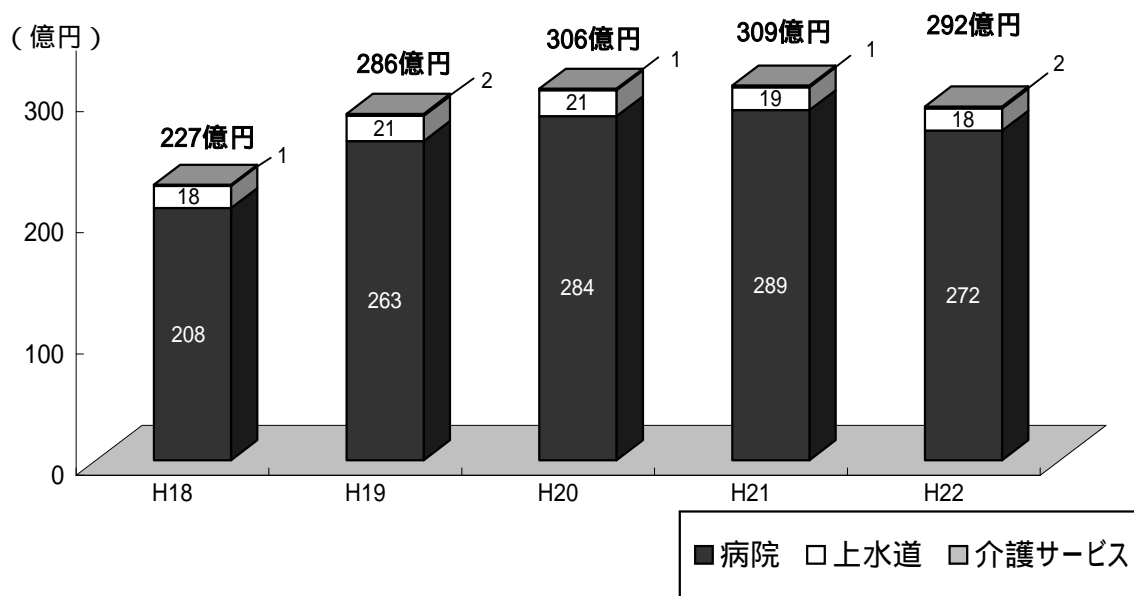
事業別にみると、病院事業が271億90百万円で最も多く、全体の93.1%を占めている。次いで上水道事業18億31百万円、介護サービス事業1億71百万円となっている。

【累積欠損金の推移】

（単位：百万円・%）

事業	年度	平成18年度	19年度	20年度	21年度(A)	22年度(B)	(B)-(A)	増減率
上水道		1,816	2,071	2,145	1,879	1,831	48	2.6
下水道		0	0	0	0	0	0	0.0
病院		20,804	26,336	28,376	28,891	27,190	1,701	5.9
ガス		0	0	0	0	0	0	0.0
介護サービス		118	171	128	142	171	29	20.4
合計		22,738	28,578	30,649	30,912	29,192	1,720	5.6

図3 累積欠損金の推移



累積欠損金：法適用企業において、営業活動によって損失（赤字）を生じた場合に、繰越利益剰余金、利益積立金等によってもなお補てんができなかった各事業年度の損失（赤字）額が累積したものをいう。

6 建設投資額 275億24百万円(34億82百万円減、11.2%減)

平成22年度の建設投資額は275億24百万円で、前年度に比べ34億82百万円(11.2%減)減少している。

事業別では、上水道事業(簡易水道を含む)が115億61百万円で最も多く、全体の42.0%を占めている。次いで下水道事業が108億61百万円となっている。

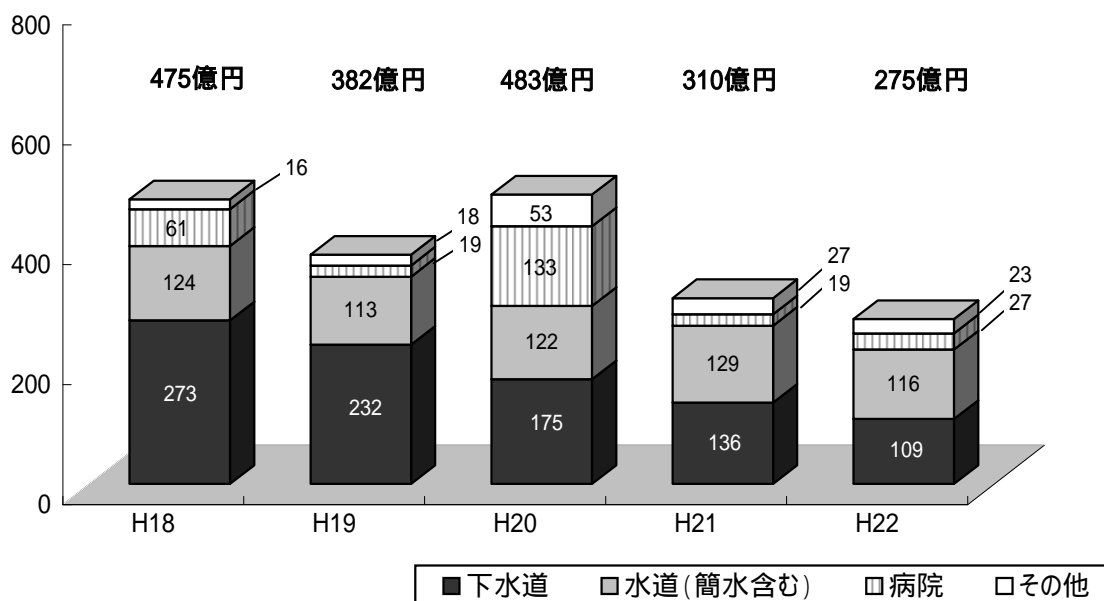
【建設投資額の推移】

(単位:百万円・%)

事業	年度	平成18年度	19年度	20年度	21年度(A)	22年度(B)	(B)-(A)	増減率
上水道		11,032	10,425	11,443	12,305	11,437	868	7.1
簡易水道		1,376	910	774	552	124	428	77.5
病院		6,140	1,881	13,279	1,887	2,715	828	43.9
ガス		1,291	1,193	1,781	1,454	1,350	104	7.2
下水道		27,297	23,240	17,488	13,562	10,861	2,701	19.9
と畜場		-	-	-	-	-	-	0.0
宅地造成		334	567	3,421	1,147	892	255	22.2
観光施設		5	3	-	-	-	0	0.0
駐車場整備		0	0	0	49	104	55	112.2
市場		0	6	56	18	13	5	27.8
介護サービス		5	0	11	32	28	4	12.5
合計		47,480	38,225	48,253	31,006	27,524	3,482	11.2

図4 建設投資額の推移

(億円)



7 企業債（地方債）現在高

6,450億78百万円（208億31百万円減、3.1%減）

平成22年度末の企業債現在高は6,450億78百万円で、建設改良事業の減少等により前年度に比べ208億31百万円（3.1%減）減少している。

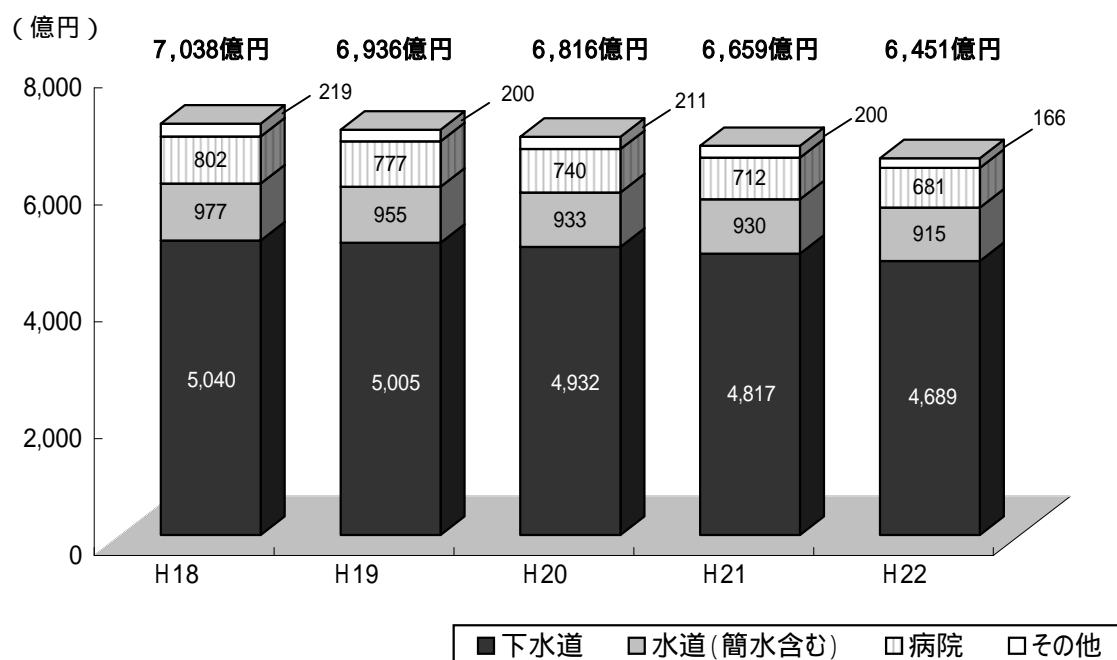
事業別では、下水道事業が4,689億38百万円と最も多く、全体の72.7%を占めている。次いで水道事業（簡易水道を含む）915億26百万円、病院事業680億78百万円となっている。

【企業債（地方債）現在高の推移】

（単位：百万円・%）

事業	年度	平成18年度	19年度	20年度	21年度(A)	22年度(B)	(B)-(A)	増減率
上水道		89,313	86,800	84,633	86,575	85,311	1,264	1.5
簡易水道		8,351	8,697	8,618	6,418	6,215	203	3.2
病院		80,223	77,650	74,042	71,216	68,078	3,138	4.4
ガス		5,483	4,943	4,427	3,941	3,503	438	11.1
下水道		503,956	500,483	493,166	481,740	468,938	12,802	2.7
と畜場		-	-	-	-	-	0	0.0
宅地造成		6,694	6,173	8,722	9,018	6,912	2,106	23.4
観光施設		38	32	-	-	-	0	0.0
駐車場整備		5,124	4,634	4,124	3,493	2,934	559	16.0
市場		593	475	406	335	258	77	23.0
介護サービス		3,991	3,734	3,454	3,173	2,929	244	7.7
合計		703,766	693,621	681,592	665,909	645,078	20,831	3.1

図5 企業債（地方債）現在高の推移



8 他会計繰入金

363億60百万円(5億31百万円増、1.5%増)

他会計繰入金は363億60百万円で、前年度に比べ5億31百万円(1.5%増)増加している。

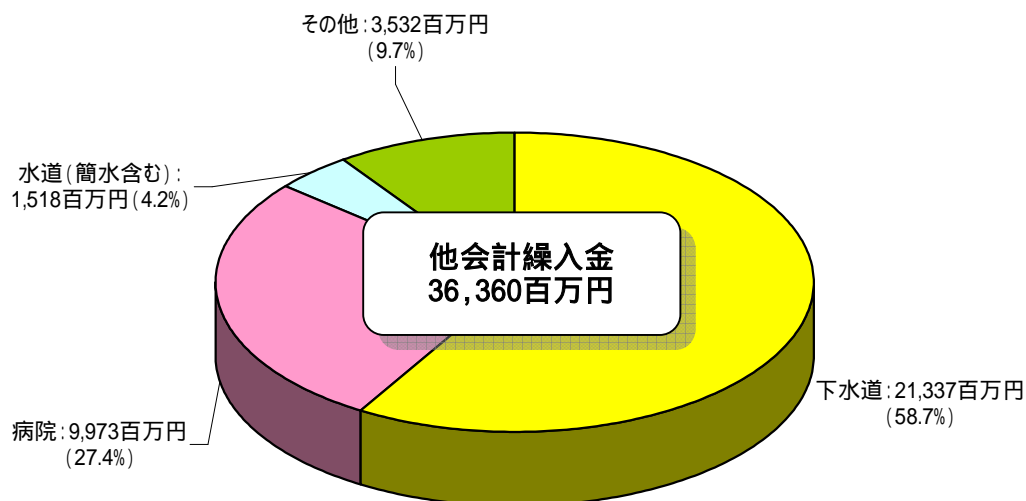
事業別では、下水道事業が213億37百万円と最も多く、全体の58.1%を占めている。次いで病院事業99億73百万円、水道事業(簡易水道を含む)15億18百万円となっている。

【他会計繰入金の推移】

(単位：百万円・%)

事業		年度	平成21年度 (A)	平成22年度 (B)	対前年度増減 (B)-(A)	増減率
法 適 用 事 業	上水道		1,263	1,264	1	0.1
	下水道		-	4,275	4,275	皆増
	病院		9,311	9,973	662	7.1
	ガス		0	9	9	皆増
	介護サービス		438	170	268	61.2
	小計		11,012	15,691	4,679	42.5
法 非 適 用 事 業	簡易水道		287	254	33	11.5
	下水道		22,748	17,062	5,686	25.0
	と畜場		-	-	0	0.0
	宅地造成		623	2,421	1,798	288.6
	観光施設		-	-	0	0.0
	駐車場整備		861	557	304	35.3
	市場		43	47	4	9.3
	介護サービス		255	328	73	28.6
	小計		24,817	20,669	4,148	16.7
合計			35,829	36,360	531	1.5

図6 平成22年度他会計繰入金の状況



その他：ガス事業、宅地造成事業、駐車場整備事業、市場事業、介護サービス事業